

まつど議会だより

発行/松戸市議会
編集/広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(http://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。



第66代副議長
城所正美



第65代議長
大井知敏

議長・副議長よりのご挨拶

市民の皆様には、日頃から市議会に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、新たに城所正美副議長が平成27年12月定例会におきまして就任しましたのでご報告いたします。私たち両名は、互いに協力をしながら、その職責を全うしてまいり存じます。

さて、国では27年を地方創生元年と位置付け、人口減少問題の克服や若い世代の雇用創出に向け、国と地方が一体となって地方の活性化に向けた取り組みを開始しています。また、公職選挙法が歴史的な改正を遂げ、28年6月より、選挙権年齢が「満18歳以上」に引き下げられます。これにより、将来を担う若い世代の意見が市政に反映される時代が到来します。こうした中、市議会といたしましては、監視機能・政策立案機能といった議会の権能を十分に発揮することはもとより、開かれた議会の構築をも目指してまいりたいと存じますので、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



流鉄流山線は、大正5（1916）年に開業となり、流山駅と馬橋駅間を結び、市民の生活の足として長年に渡り活躍を続け、本年3月に100周年を迎えます。

常任委員会等名簿 ~委員会構成に一部変更がありました~

12月定例会

平成27年12月定例会を12月4日から22日まで開催しました。

今定例会では、初日に市長から提出のあった人権擁護委員候補者の推薦議案3件に同意しました。

このほかに、市長から提出された一般議案18件、市民の方から提出された請願1件を、それぞれの常任委員会において審査しました。

最終日には、これらの案件のほかに議員提出議案9件を上げし、採決しました。

（2面に審議結果、主な質疑を掲載）

なお、34人の議員が市政に関する一般質問を行いました。

総務財務常任委員会

- ◎ 之介之博 一祥行 剛康 一孝
- ◎ 龍大啓 英由史 照能 英
- ◎ 川木中橋 東山 野堂 居山川
- ◎ 石鈴山 大伊 杉津 宇二田 深中

健康福祉常任委員会

- ◎ 勇之薫 理範 健二 士美 嗣三
- ◎ 伸 麻茂 裕剛 由研 秀
- ◎ 井橋 田瀬 谷木 谷角 堀井
- ◎ 石高 増岩 大高原 淡諸 岩桜

議会運営委員会

- ◎ 一 勇健之 矢子 幸美 嗣剛 康
- ◎ 恵英 啓信 正由 研 照
- ◎ 川東 井木 中輪 村原 角堀 堂居
- ◎ 市伊 石高 山箕 木織 諸岩 二田

教育環境常任委員会

- ◎ 子尚 子一 矢明 一幸 薫 人民
- ◎ 正し 信公 恵正 裕 曉
- ◎ 村尾 口E 輪 箸川 原口 松沢
- ◎ 木松 山D 箕飯 市織 谷末 小

建設経済常任委員会

- ◎ 作明 み児 一子 美敏 雄 京彦
- ◎ 栄智 よ健 シ 妙正 知勝 俊
- ◎ 口木 田塚 根橋 所井 替 田林
- ◎ 山鈴 平大 関高 城大 張 中平

市立病院検討特別委員会

- ◎ 孝之介 二博 之行 幸剛 康 人民
- ◎ 英龍 大裕 伸史 正 照 裕 曉
- ◎ 川川 木 橋 橋野 原堂 居 松沢
- ◎ 中石 鈴原 大高 宇織 二田 末 小

12月定例会審議結果

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
市長提出議案				
第23号	平成27年度松戸市一般会計補正予算(第3回)	総務財務	可決	全会一致
第24号	松戸市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の制定	総務財務	可決	多数意見
第25号	松戸市印鑑条例の一部を改正する条例の制定	教育環境	可決	全会一致
第26号	松戸市住民基本台帳カードの利用に関する条例の一部を改正する条例の制定	教育環境	可決	全会一致
第27号	松戸市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例等の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致
第28号	職員の分限に関する手続および効果に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	多数意見
第29号	松戸市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	多数意見
第30号	松本清奨学基金に関する条例を廃止する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致
第31号	松本清児童福祉基金条例の制定	健康福祉	可決	全会一致
第32号	松戸市市税条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致
第33号	松戸市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致
第34号	松戸市養護老人ホーム条例を廃止する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致
第35号	松戸市老人デイサービスセンター条例を廃止する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致
第36号	松戸市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致
第37号	市道路線の廃止及び認定	建設経済	可決	全会一致
第38号	指定管理者の指定(松戸市稔台市民センター)	教育環境	同意	全会一致

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
第39号	指定管理者の指定(松戸駅東口自転車駐車場ほか49か所)	建設経済	同意	全会一致
第40号	指定管理者の指定(常盤平駅北口第1自転車駐車場)	建設経済	同意	全会一致
第41号	人権擁護委員候補者の推薦(若林桂子氏)	—	同意	全会一致
第42号	人権擁護委員候補者の推薦(野村義氏)	—	同意	全会一致
第43号	人権擁護委員候補者の推薦(山口勤氏)	—	同意	全会一致
請願				
第6号	「平和安全保障関連法」の廃止を求める意見書の提出に関する請願	総務財務	不採択	多数意見
議員提出議案				
第17号	消費税増税の中止を求める意見書	—	否決	多数意見
第18号	TPP協定書作成作業からの撤退と調印中止を求める意見書	—	否決	多数意見
第19号	「一億総活躍社会」「新3本の矢」に関する意見書	—	否決	多数意見
第20号	国立大学法人運営費交付金の削減案撤回を求める意見書	—	否決	多数意見
第21号	安全保障関連法に基づく南スーダン等への自衛隊派遣を行わないことを求める意見書	—	否決	多数意見
第22号	立憲主義を守ることを求める意見書	—	否決	多数意見
第23号	マイナンバー制度の円滑な運営に係る財源確保等、自治体の負担軽減を求める意見書	—	可決	多数意見
第24号	中学校夜間学級の整備と拡充を求める意見書	—	可決	多数意見
第25号	ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書	—	可決	全会一致

健康福祉 常任委員会

議案第33号 松戸市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について

○ 待機児童解消策として、民間の小規模保育施設でなく、公立保育所の分園を設置する理由は何か。

○ 公立の古ヶ崎保育所が近隣にあり連携がとりやすいことがある。小学校内(古ヶ崎小)に保育所を設置する事業は本市にとって初めてであることから、本園も含めて小学校や教育委員会との連携を視野に入れると、公立で設置運営していくメリットが大きいと考え、古ヶ崎保育所の分園とした。

議案第35号 松戸市老人デイサービスセンター条例を廃止する条例の制定について

○ 廃止となる古ヶ崎デイサービスセンターが、そもそも古ヶ崎小学校内に設置された経緯は。

○ 当時、高齢者の心身の機能の維持や介護をする方の負担軽減などを目的としたデイサービスの施設が不足していた。一方、国では、児童生徒数の減少による小中学校の余裕教室の有効活用を奨励していた。こうした状況の中、補助事業を活用して、デイサービスセンターを設置したものである。

総務財務 常任委員会

議案第23号 平成27年度松戸市一般会計補正予算(第3回)

○ 障害者施設等整備促進事業における重症心身障害児入所施設運営費負担金の負担割合を決定するまでの経過について伺う。

○ 当該施設の運営主体は社会福祉法人だが、監査や第三者による経営診断により、初期の段階では公的支援が必要との結論に至った。費用負担については県と東葛6市で1年かけて協議を行い、県が2分の1、残り2分の1を6市で人口および施設実利用者数により按分し負担するという内容で合意したものである。

○ 小学校給食調理委託業務については、今回から債務負担行為という形で3年分の契約を締結することだが、委託料の見直しはどうか。

○ 積算については、食費、人件費の増加分に対し見込みを立てて行っている。しかし、急激な人件費の増加分については考慮していないため、金額的に著しく困難な状況に陥った場合には、事業者と協議となり、契約変更ということもあり得ると考えている。

建設経済 常任委員会

議案第39号 指定管理者の指定について(松戸駅東口自転車駐車場ほか49か所)

○ 指定管理者の選考プロセスで、前回と変更した点は何か。

○ 指定管理者候補者の審査では、松戸市指定管理者の指定手続等に関する条例第4条第1項に規定する6項目の評価を、選定基準として審査するとしている。前回と大きく変更した点として、6項目を平準化して

議案第38号 指定管理者の指定について(松戸市稔台市民センター)

○ 指定管理者選定審査委員の中に稔台連合町会に属した方はいたか。また、利害関係の有無について伺う。

○ 稔台連合町会に属した審査委員はいない。また、利害関係の定義には血縁関係および経済関係があるがどちらにも該当する方はいない。

○ ほかの町会に、市民センター管理運営等のスキルがあるかは難しい状況にあると思われるので、管理運営等の意向があれば後押しをしていく必要があると考えている。

○ また、28年度からは地域代表者制度に移行し、新しいパートナーシップの形に変わっていくことを念頭に、各施設の管理運営等のあり方について柔軟に対応していく必要があると考えている。

自転車駐車場の現在の利用状況は。

○ 現在、有料の市営駐輪場として一日単位の時間貸し駐輪場と、月単位の駐輪場がある。このほか、民間駐輪場を含め3種類で運営され、約3万2300台の容量を有している。平均約2万台が日常的に利用されている状況から、全体的に余力はあると考えている。しかし、実際には駅に近いところで利便性を求めて利用者が増える状況であることから、今後は、利用が平準化されるような対策を検討していきたい。

教育環境 常任委員会

議案第38号 指定管理者の指定について(松戸市稔台市民センター)

○ 指定管理者選定審査委員の中に稔台連合町会に属した方はいたか。また、利害関係の有無について伺う。

○ 稔台連合町会に属した審査委員はいない。また、利害関係の定義には血縁関係および経済関係があるがどちらにも該当する方はいない。

○ ほかの町会に、市民センター管理運営等のスキルがあるかは難しい状況にあると思われるので、管理運営等の意向があれば後押しをしていく必要があると考えている。

○ また、28年度からは地域代表者制度に移行し、新しいパートナーシップの形に変わっていくことを念頭に、各施設の管理運営等のあり方について柔軟に対応していく必要があると考えている。

稔台連合町会が管理運営を始めて10年程が経過する。そうした中、平成28年度から地域代表者制度に移行するが、今後の町会と行政のパートナーシップについて、市の見解を伺う。

○ ほかの町会に、市民センター管理運営等のスキルがあるかは難しい状況にあると思われるので、管理運営等の意向があれば後押しをしていく必要があると考えている。

○ また、28年度からは地域代表者制度に移行し、新しいパートナーシップの形に変わっていくことを念頭に、各施設の管理運営等のあり方について柔軟に対応していく必要があると考えている。

委員会の審査なる

12月15日・16日・17日・18日に各委員会を開催し、提出された議案等について審査しました。この中には、その審査の中での主な質疑答弁(要点を掲載します)。

特定所管事務調査等の 委員長報告

常任委員会では、それぞれ市政の課題を抽出し特定所管事務調査事項として、定例会中だけでなく閉会中も継続的に、活発に議論を重ね、調査・研究を行っています。

今定例会では、各常任委員会での調査研究の経過を委員長より報告しましたので、その内容(要点)をお知らせします。

なお、総務財務常任委員会の特定所管事務調査事項「財源のあり方」における「ふるさと納税制度」への取り組みについては、議長より市長へ政策提言しました。

また、市立病院検討特別委員会では、新病院の建設が開始されたことを一つの区切りとし、これまでの経緯を委員長より報告しました。

総務財務常任委員会

財源のあり方について

本常任委員会では、平成27年3月定例会において、本市独自の歳入確保策を模索するため、特定所管事務調査事項を「財源のあり方」についてと決定した。

地方自治体を取り巻く財政状況は厳しく、税収以外の歳入確保には苦勞している。この現状を踏まえて、多岐に渡る歳入の中から独自の財源確保策は何かを考え、民間企業における「棚卸し」という意味合いで調査を進めることとした。自治体における歳入確保策としては、「ふるさと納税」、「ネーミングライツ」、「クラウドファンディング」、「手数料の見直し」等が主として考えられる。本委員会では、自治体独自の歳入確保に努め、充実した「ふるさと納税制度」を実施する岸和田市、市有財産の有効活用により複合施設を統合・整備した大阪市城東区への視察を実施した。その後、主に「ふるさと納税制度」を中心とした歳入確保策について研究を深めたが、本制度においては、27年度の税制改正により控除される納税枠が約2倍に拡充され、納税を行う自治体数が5団体以内であれば確定申告が不要となる「ワンストップ特例制度」が開始となっており、今

後、「ふるさと納税」が地方自治体の税収確保において大きく影響を与えるものであると考えられる。現在、本市の寄附行為においては、寄附金税額控除のみが対象となり、返礼品等の特典は無い状況である。先進市の取り組みも踏まえて調査・研究していく中で、本常任委員会としても制度の拡充を早急に実施していくべきという結論に至ったため、「ふるさと納税制度」への取り組みについて、次のとおり政策提言をする。

- 1 本市の魅力を最大限に活かせるよう、ふるさと納税制度の対象者や条件等を十分に検討すること。
 - 2 独自性を持った返礼品を考案すると共に、ふるさと納税を身近に利用できるようにすること。
 - 3 ふるさと納税制度を実施するにあたり事務効率及び費用対効果を十分に考慮すること。
 - 4 より多くの方に利用してもらえるように、周知方法を十分に検討し手続きを簡便にすること。
- 以上の提言により本市の魅力を市内外に発信し、歳入確保策の第一歩として実施すべきと考える。
- また、他の自主財源の確保策については、本市にとってより良い政策提言をすべく、引き続き各自治体の状況や本市執行部等から情報収集し、調査・研究を進めていく。

健康福祉常任委員会

障がい者施策について

本常任委員会では、平成27年3月定例会において、特定所管事務調査事項を「障がい者施策」として議決した。障がいのある方々が、いきいきと生活できる社会を実現していくための「障がい者自立支援」に着目し、就労支援と地域生活支援の研究を進めることとした。その後、移動支援も双方に深く関わりがあるとの意見も出たことから、このことを検証するため、10月に視察を行った。

そこでの取り組みは、発想が豊かであり障がい者施策に向けた「気づき」を得るものであった。今後は、ウェルビーイング(障がい者個人の権利や自己実現が保障される身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること)、ノーマライゼーション(障がいのある人もない人同様の生活ができてお互いが特別に区別されることなく、当たり前前に社会生活を共にしていくことが正常な社会であり本来の望ましい姿)という考え方を基本に置き、先進事例に学び障がい者施設で「現場の声」を聞くことで、現況にあった支援策について調査・研究を深めていきたい。

教育環境常任委員会

生涯学習活動支援について

本常任委員会では、平成27年3月定例会において、特定所管事務調査事項を「生涯学習活動支援」と決定し、まず、市民が生涯学習に対して何を望んでいるのかを把握するため、教育委員会が行った「社会教育に関するアンケート調査」に注目した。その結果、「学習機会提供の現状と課題」、「市民への情報提供の現状と課題」、「社会教育施設の現状と課題」を柱に今後の調査・研究を進めていくこととした。9月の常任委員会では、社会教育施設の充実は今後の公共施設再編整備方針の中で集約化、複合化、多機能化を視野に、効率性の向上を第一に検討していく予定であることが明らかとなった。11月には、生涯学習活動支援の先進市へ行政視察を実施し、名古屋市では市民向け情報発信の方法等を、また、岐阜市では図書館・市民活動交流センター等の機能を持った複合施設を調査した。今後、これらを踏まえ政策提言に向けて絞り込み作業に入るべく、執行部の協力を得ながら調査・研究を深めていきたい。

建設経済常任委員会

大型商業施設誘致について

本常任委員会では、特定所管事務調査事項として「松戸市への大型商業施設誘致について」とすることを、平成27年3月定例会において決定した。本市議会でもたびたび市政に関する一般質問に取り上げられ、また、大型商業施設の進出による地域活性化や中心市街地の空洞化等は新聞報道で知られるとおりである。そこで、松戸市にとつて大型商業施設がどのような影響をもたらすか、さまざまな角度から調査・研究を進めた。まず、近隣市のショッピングモールを例に意見を交わす中、消費者・中小小売業者および商店会・雇用・税収入・まちづくり・社会的弱者の6つの観点を抽出し、執行部の協力を得ながら、メリット・デメリットを整理してきた。また、宇都宮市および八戸市への行政視察では、委員会での意見が具現化されている事例を学ぶことができた。今後は、経済や都市基盤の整備だけでなく、そこに住む人々の生活や松戸市の地域性についても視野を広げて、大型商業施設のあり方を含め、調査・検討を深めていきたい。

市立病院検討特別委員会

本特別委員会は、老朽化した市立2病院の今後のあり方と建て替え等に関する方針を検討する「市立病院建設検討特別委員会」として平成13年12月に設置され、協議・検討を行ってきた。このたび、新病院の建設が開始されたことから、あらためて経過を報告する。15年9月、本特別委員会において新病院は移転して建て替えを行うことを決定し、20年11月、紙敷土地区画整理事業地内保留地66街区が建設予定候補地として提案された。22年4月には、市民団体から新病院整備基本計画の是非を問う住民投票条例の制定を求める直接請求が提出されたが、市と議会とが検討を重ね、計画を進めるべきとして否決した。また、現地で建て替え案に対しては、23年4月、本郷谷健次市長が設置した「市立病院建替計画検討委員会」から現実の問題として難しい旨の答申書が提出された。答申を受け、市長は市立病院を千駄堀に、東松戸病院を上本郷へ移転建設する案を推奨するとした。本特別委員会では懸念は残るが、これ以上結論を先延ばしにできないため、基本的には案を尊重することとした。また、24年9月定例会に提出された千駄堀地区への建設反対や紙敷地区への建設の早期実現を求める陳情は、千駄堀地区での建設を進めるための補正予算が可決されたことから不採択とみなした。25年3月定例会で建設総額を約119億円とする予算案を、その後も建築資材等の高騰による約17億円の増額補正予算案を可決した。26年10月臨時会には、入札参加業者の辞退があったものの再公募により事業者が選定されたことで、約57億円を増額し194億円を契約額とする補正予算案が提出された。議会では、財政負担を抑え、今後の2病院のあり方を検討し一般会計に頼ることのない病院経営を構築すること等の決議を附し、やむを得ず可決した。

なお、本特別委員会は、27年6月、名称を「市立病院検討特別委員会」として、今後もしも市立2病院のあり方の検討に取り組んでいく。

一般質問

12月定例会では、12月7日・8日・9日・10日・11日の5日間にわたり、34人の議員が市政に関する一般質問を行いました。その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

※議長・副議長および議会選出監査委員は、一般質問を行っておりません。

交通対策について

無所属

関根 ジロー

問 千代田線下り電車「綾瀬駅止まり」解消に向けて、かねてより要望をしてきたが、その後の進捗よくについて伺う。

答 綾瀬駅止まりの解消については、例年要望活動を行っており、平成28年3月に予定され

ている小田急線と常磐緩行線の相互直通運転は、大きなチャンスと捉えている。そのため、27年10月に、同様の課題を抱える葛飾区と意見交換や今後の連携について協議を行い、さらに、12月2日にはJR東日本の本社を訪問し、小田急線車両の常磐線乗り入れ本数の確保や綾瀬駅止まりの延伸についての要望書を手渡した。今後も、沿線自治体との連携を図り鉄道事業者に対し働きかけていきたい。



バーベキュー広場の予約方法について

公明党

伊東 英一

問 21世紀の森と広場に設置されているバーベキュー広場の予約は、電話が混み合いつながりにくい状況である。森のホールや市民劇場等と同様に、インターネットによる予約方法に変えてできないか。

答 バーベキュー広場は、都市公園法の規定に基づき、選定した専門業者に許可を与え、事業を行っている。予約方法については、事業者側としてもインターネットの活用を考慮しているが、早急の対応は難しい状況である。本市としては、予約の方法としてインターネットの活用は利用者の利便性も向上し、有効な手段と考えていることから、今後もインターネットの活用について、事業者と協議していく。

松戸の魅力のさらなる発信を

まつど市民

木村 みね子

問 市では、松戸に住んだ幻の将軍、徳川昭武を主人公としたNHK大河ドラマの誘致活動の主体となる考えはあるか。

答 昭武の人生は、兄で最後の将軍慶喜と切り離すことができない。平成10年、NHK大河

ドラマ「徳川慶喜」の放映にあたり市が時代考証等に協力したことから、戸定邸が紹介され、これにより年間来訪者も11万人を超えた。昭武が住んだ戸定邸は国の重要文化財、庭園は名勝に指定されている。これまでも昭武の歴史的評価に取り組んできたが、夢のある目標に向け、さらに魅力をPRしていきたい。



昭武公ゆかりの懐中時計(戸定歴史館所蔵)

障がい者差別解消法への取り組み状況について

公明党

織原 正幸

問 障がい者差別解消法の施行に伴い、地方公共団体等職員対応要領の作成に関する市の方針について伺う。

答 障がい者差別解消法では、行政機関等に対し「不当な差別的取り扱いの禁止」および「合理的

配慮の提供」が法的義務となっている。このため、対応要領については、市長部局はもとより、教育委員会をはじめ任命権者ごとに調整を図りながら作成していきたい。また、現在、県において「障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」を作成していることから、この内容についても参考として本市の対応要領を作成していきたいと考えている。

犯罪被害者支援について

公明党

高橋 伸之

問 犯罪被害者の声を反映した条例の制定や見舞金などの支援強化を図るべきと考えますが、市の見解を伺う。

答 松戸・松戸東警察署内にそれぞれ犯罪被害者支援連絡協議会が設置され、本市の関連部

署の所属長が委員となり、犯罪被害者やそのご家族に対する支援策の状況や情報などの共有化を図っている。今後は、このネットワークを活かした啓発活動や幅広い支援をすることも、市内関係機関・団体等と緊密な連携を図り防犯対策を推進していきたい。また、本市では事件事故で亡くなられたご遺族に対して、松戸市災害弔慰金支給条例に基づき弔慰金を支給している。



ダブルケア支援策について

公明党

岩瀬 麻理

問 介護と子育ての両方を一度に相談できる窓口の設置、または福祉サービスの基本的知識を持ったコーディネーターの配置はできないか。

答 近年、働きながら子育てと介護の両方が必要になる「ダ

ブルケア」を行う家族などに対する相談支援の充実が求められている。国においても、介護する家族の不安や悩みに応える相談機能の強化や支援体制の充実を図るとしている。本市もこうした国の方針を受け止め、地域包括支援センターにおいて介護を行う家族への相談支援の充実を図るとともに、高齢者関係機関と子育て関係機関の連携を強化し、ニーズに対応した適切な支援に取り組んでいきたい。

市役所内で情報共有を

無所属

中田 京

問 平成27年9月定例会でアウトソーシングについて質問したが、随意契約は契約事項に基づき担当課が事業を管理していることから、名寄せによる一括管理は必要ないとの答弁であった。しかし、ほとんどが随意契

約である公共施設の自動ドアの保守点検費用には幅があると判明した。同じ程度のサービスについては、所管課が他の施設の価格を知った上で、随意契約に至ることが必要ではないか。

答 今後、委託内容が比較しやすいものについては、共通様式にそれぞれの所管課が委託内容を入力し一括で管理することにより、情報を共有し、他の施設の価格を知ることが可能と考える。

災害時、避難所の停電の備えについて

公明党

松尾 尚

問 避難所における電力の確保は、また、蓄電機能付きの太陽光発電や風力発電を用いた照明の設置が導入推進できないか。

答 災害時の停電対策としては、避難所となる市立小中学校は、65校全てに発電機を備蓄してい

る。また、市役所敷地内の倉庫や拠点備蓄倉庫および支所や市民センター等にもガソリン式発電機を計58台備蓄し、停電時の電源として確保している。当該照明設備は災害時に有効であり、多様な発電方法を確保することも重要と認識している。しかし現状では、避難所開設や運営に必要な資器材を優先し備蓄していることから、設置は今後の環境整備の参考としたい。



組み体操の危険性について

社民・無所属クラブ
増田 薫

問 小中学校で行われている組み体操は、最近、その危険性が問われており、市内でも事故が発生している。今後の事故防止対策について考えを伺う。

答 教育委員会としては、平成27年度の市内小中学校にお

る組み体操に関する実態調査を基に、校長会や教頭会等で継続的に協議を続けている。また、27年12月1日の校長会では、市立病院の医師を招き、組み体操における事故の実態やメカニズム、必要な対応策等についての説明を受け、協議を行った。今後は、各学校における種目内容の検討等、専門家を交えた検討作業を進め、徹底した安全教育と合理的な安全管理に学校と協力して取り組んでいきたい。

国民健康保険事業の現状と今後について

まつど自民
鈴木 大介

問 市の国民健康保険事業財政調整基金の活用については、安易に加入者へ保険料の値下げという形で還元するのではなく、慎重にその活用方法を検討すべきと考えるが、市の考えは。

答 基金の今後の活用方法に

ついては、平成30年度から予定されている国民健康保険事業の都道府県単位の広域化後においても、保険料の値上げ抑制に活用できるようにしていきたいと考えている。また、基金の一部を健康管理事業などの医療費適正化対策に活用することも考えており、特定健康診査の受診率向上を目指し、受診者に対するインセンティブの付与や、40歳未満の被保険者に対する健診の実施も検討していきたい。

東松戸駅周辺の街づくりについて

公明党
鈴木 智明

問 東松戸駅周辺地域に、気軽に利用できる公共施設の整備や郵便局を誘致することは地域発展の上でも必要と考えるが、市の見解を伺う。

答 東松戸駅周辺は、これからも人口増加が見込まれるため

図書館機能、集会機能、支所機能、保育機能等を、旧65街区のまちづくり用地に新設を計画している公共施設の中に、盛り込むことを検討している。また、郵便局を含めた民間施設の誘致にも取り組んでおり、情報収集に努め可能性を探っていく。今後、市民ニーズに対応したバランスの取れた施設整備を行うため、地域との意見交換を通じ、より良い施設づくりにつなげたい。



小学生の暴力といじめ対策について

公明党
城所 正美

問 ドイツの学校においていじめ防止対策に効果を上げていくバディプログラムについて市の考えを伺う。

答 ドイツの「バディ」と呼ばれる上級生が下級生の学習の個別支援、トラブルやけんかの

仲裁を行う中で、児童生徒の社会性を育成し、いじめの防止につなげていくバディプログラムは、いじめの未然防止の大切さを再認識することができるといふ。いじめを発生させない学校風土をつくる点においては、本市と同じ考えである。今後、いじめ防止に向けて、先進事例を取り入れながら、豊かな人間づくりプログラムや取り組みをさらに充実させ、各学校に発信していく。

地域福祉コーディネーターの導入を

公明党
諸角 由美

問 厚木市では、引きこもり等の問題を抱えながら必要なサービスが受けられず困っている住民に、積極的にかかわり問題解決に取り組み成果を上げている。このコミュニティソーシャルワーカーといわれる地域福

祉コーディネーターを、本市でも配置する考えは。
答 本市では、制度の谷間にある問題や住民の多様なニーズの拡大に対し、相談支援等を充実するため、情報や資源を横断的に把握しコーディネーターとする人材の育成に計画的に取り組んできた。今までに17名がソーシャルワークの手法を学び、必要な技術を習得した。今後も育成に積極的に取り組み、適所配置についても検討していきたい。

スポーツによる街づくりについて

公明党
石川 龍之

問 市内のラグビーチームの実力は全国レベルであり、このポテンシャルをもっとアピールし、街の活性化の一つとして推進することはできないか。

答 本市では多くの市民が子どもの頃からラグビーに触れ、

高校や大学でレベルアップし、多くの選手がトップリーグや日本代表として世界の舞台で活躍している。本市のスポーツ振興の視点からも、ラグビーを通して新たな街の活性化が生まれ出されるものと考えている。今後、市民が身近な場所でラグビーに触れることができる機会と施設をさらに充実させ、ラグビーを通じた市民スポーツの振興に取り組んでいきたい。



課題を抱える家庭への支援について

市民力
大塚 健児

問 文部科学省推奨の「地域人材の活用や学校・福祉との連携によるアウトリーチ型家庭教育支援委託事業」を活用することにより、訪問型家庭教育支援チームを導入してはどうか。

答 本市ではスクールソシ

ヤルワーカーの導入等、県の派遣事業を活用した支援が行われている。今後も県の事業等の動向に注視しつつ、心理相談員、適応指導教室指導員等の人材を有効に活用する試みも進めていきたい。また、対応が困難なケースには家庭教育支援員等で編成されたチームによる支援も有効と考えており、学校を中心としたチームの編成による対応も実績を重ねていきたい。



松戸駅周辺まちづくり基本構想の進捗は

まつど自民
石井 勇

問 相模台国有地の取得計画の進捗よく状況について伺う。

答 相模台地区には、新拠点ゾーンとして新たな松戸の顔となる多機能拠点を整備したいと考えている。また、松戸駅周辺は老朽化した公共施設が分散し

ていることから、最小限の投資で再編整備ができるように、新拠点への集約も含め検討している。国有財産の管理および処分については、国の諮問機関である「国有財産地方審議会」に諮られ、利用計画案などを考慮し決定される。そのため、国有地取得については、財務省と取得方法、時期、取得価格なども含め協議を進めているところである。



色覚検査について

清松会
箕輪 信矢

問 色覚異常は早期に自覚することで不利益を受ける機会も減るため、中学校卒業までに全員が色覚検査を受診できる体制をつくることはできないか。

答 現在、市内小中学校における色覚検査は、主に小学校4

年生と中学校2年生を対象としているが、全学年で色覚についての理解が深められるよう広報活動をしていきたい。また、児童生徒や保護者も気軽に検査や相談が受けられる体制を整え、教職員が適切に対応できることが、色覚にかかるといわれる重要なポイントと考えている。色覚検査を全員が受けることは難しいが、啓発活動や学校体制の充実の下、適切な支援や対応に努めていきたい。

クライミングウォールの設置を

まつど市民

田居 照康

問 スポーツクライミングで使用するクライミングウォール（人口壁）を設置する考えは。

答 人気のあるスポーツクライミングがオリンピック競技に追加された場合、盛り上がり競技人口の増加が予想される。

本市でも、松戸馬橋高等学校山岳部が素晴らしい成績を収め、全国大会への出場が決定している。他市に先んじて施設を設置することは、スポーツ振興の先進的な取り組みとなるので、既存施設に限定せず、他競技への影響が少ない屋外や新たな施設の整備についても関係団体等と連携を図り、研究を進めていきたい。



注目のニュースポーツ!

松戸駅周辺まちづくり基本構想の現状について

市民力

谷口 薫

問 松戸駅周辺まちづくり基本構想が策定されたが、基本構想案に対する地元組織の声は。また、現状について伺う。

答 松戸駅周辺まちづくり基本構想策定の過程において、素案の公表以降に市民意見募集、

市民説明会、パブリックコメント等を通じて多くの意見があったことから、市民の皆さんが基本構想に関心を持っていてものと認識している。基本構想に係る個別施策の実施においても、広く意見を募りながら行うことがより良いまちづくりを進める上で有意義であると考えている。現在、各個別施策の検討を始めたところであり、方向性が定まった時点で市民の皆さんへお知らせし、意見を募っていききたい。

国際交流について

まつど市民

大谷 茂範

問 地方自治体が特有の資源を活用した戦略の推進による地域経済の活性化が求められる中、本市特有の強みを活かした国際交流があると思うが、見解は。

答 平成27年10月に策定した松戸市総合戦略において、国際

交流については、本市を広く海外へアピールすること等を盛り込み、国の施策に積極的に対応できる体制づくりを進めている。これに先行して26年度には、諸外国、国の機関等との連携強化のため国際文化振興参与を採用し、27年9月、駐日外交団ツアー招聘の際には力を発揮した。引き続き、多文化共生をはじめ在住外国人への対応に力を入れるとともに、海外に目を向けた取り組みも積極的に実施したい。

子どもの権利条約に基づいた対策について

日本共産党

高橋 妙子

問 いじめから子どもの命と安全を守るための取り組みは。

答 いじめの予防には、適切な指導の下、児童生徒自らが、いじめの発端となるトラブルの解決力を培うことが大切である。そのため学校では、道徳教育を

重視して、より良い人間関係を築く力や問題解決能力の育成に努め、さらに「豊かな人間関係づくり実践プログラム」や「いじめアンケート」を学級の問題解決や人間関係を深められるように活用している。また、子どもの様子を暖かく見守り、必要な支援をするために、全ての教職員が子どもの支援に関われる校内体制を整備し、保護者・地域の方々と協力して、いじめの未然防止に努めている。

市立病院の女性特別外来について

日本共産党

山口 正子

問 思春期から高齢期までの女性の症状に対処する女性特別外来の拡充に向けての考えは。

答 現在、市立病院のホームページでは、女性特別外来の診察日、予約方法等の案内をしている。また、掲載内容の見直し

や充実を図ることにより、利用者への安心感や信頼感を醸成することを考えている。一方、女性の健康推進として、平成24年度より婦人科疾患についての市民医療セミナーを実施しており、担当医師と協議の上、女性特別外来についてのセミナーの開催も検討している。今後も幅広い年代の女性が活躍する社会の実現に寄与するため、女性特別外来のより一層の充実とPRの強化を図りたい。

食品の放射能測定について

社民・無所属クラブ

DELLI

問 計測精度をあげるため、食品の放射能計測時間を長くする考えは。また、改善点や計測器の稼働状況等の情報を共有し、クロスチェックができないか。

答 平成27年11月の食品対策会議では、各課における食品等

への放射能検査業務内容について情報を共有し、本市での測定下限値の考え方も確認した。また、より正確な放射能検査数値を市民に公表することは重要であるとの認識を共有し、測定時間を長くすることで関係部署の理解を得た。さらに、測定環境や記載方法を統一することを確認した。今後、検査結果に誤差が生じた場合には、測定器を相互利用してクロスチェック等を行える体制を整えていきたい。

地域包括ケアシステムについて

社民・無所属クラブ

二階堂 剛

問 介護予防把握事業において支援対象者の把握はどのように行っていくのか。また、平成27年9月の補正予算で措置されたハイリスク・アプローチ等のアンケート調査の進捗は。

答 介護予防把握事業として

65歳に達した方へ被保険者証を送付する際、介護予防事業および地域包括支援センターの案内を同封するとともに、後期高齢者のうち高齢者の夫婦世帯と単身世帯へもアンケート調査を実施し、支援対象者の日常生活を把握する予定である。また、アンケート調査の進捗については、必要に応じて訪問調査を実施できるように個人情報に留意しながら関係機関と調整を行っているところである。

県道松戸・鎌ヶ谷線の歩道改善について

日本共産党

平田 きよみ

問 東武野田線の踏切から六実一丁目にかけての狭く段差の多い歩道の状況を市はどう把握しているか。また、改善へ向け県へはどのような働きかけをしたか。

答 当該区間の歩道は、幅員

が狭い上、歩行者のすれ違いもままならない状況にあり、地元町会から拡幅整備の要望書が県知事宛に提出されるなど、本市としても道路整備の必要性を認識している。県に対しては、市内のほかの県道と同様、以前から拡幅整備等を要望しているが、平成27年6月にも県と市で開催した連絡調整会議の場において改めて要望を行ったところである。今後も引き続き、粘り強く要望していく。

松戸花火大会について

市民力

原 裕二

問 JR松戸駅改修工事が平成28年度より始まるが、松戸花火大会への影響や打ち上げ場所の変更の可能性について伺う。

答 花火大会の会場に向かう多くの方が松戸駅を利用してのことから、駅改修工事による

歩行者の安全面への影響は認識している。開催については、花火大会を主催する「松戸花火大会実行委員会」と警察等とで、安全や警備、交通規制等を協議し、駅改修の影響も勘案しながら判断していく。また、松戸駅周辺での開催が難しい場合は、打ち上げ場所の変更も含め検討していくが、市としても、毎年多くの方が楽しみにしているイベントのため、継続して花火大会を開催できるよう努力したい。

公立保育所の駐車場について

日本共産党 高木 健

問 公立保育所における送迎車の駐車場対策はどのようなものか。また、保護者からの声はどのようなものか。

答 各保育所の子どもの送迎車の駐車については、工夫し対応しているが、違法駐車や周辺

住民とのトラブル等が課題であると認識している。1台でも多くの駐車スペースを確保するため、保育所内の整備や周辺施設との連携等により、平成27年度は6施設の駐車場整備を予定している。整備内容は、新規整備4施設、周辺施設との連携駐車場2施設となっている。また、保護者等から駐車場確保を求める意見もあることから、環境が整い次第、計画的に駐車場整備を進めていく。

プラネタリウムの現状と課題は

市民クラブ 深山 能一

問 娯楽性を追及しつつ星空を学ぶ施設が近隣市に多くなっている中、市は市民会館プラネタリウムをどのように捉え、どうしているのか。

答 本市出身の宇宙飛行士山崎直子さんが何度も通ったプラ

ネタリウムは、昭和53年に建築された。山崎さんによる天文教室、天体望遠鏡で観測する星空の観望会は好評だが、ここ数年、利用者は横ばいである。現在の施設では娯楽性を追求するようなプログラムは提供できないが、今後も学習型投影を重点に提供していきたい。山崎さんの功績を伝承し、公共施設再編を契機に魅力ある社会教育施設を造り、第2、第3の山崎さんを誕生させることができると考える。

人にやさしいまちづくりを

市民クラブ 岩堀 研嗣

問 ベンチのある道づくり・まちづくりは、ベンチの設置方針に基づき計画性をもって増やしていくものか。市のベンチ設置の取り組み状況と課題について伺う。

答 本市としては、これまで

道路整備にあたり通行の妨げになるものを極力設置しないことが安全で円滑な歩行環境に資すると考え、ベンチの設置については計画に盛り込んでこなかった。しかし、近年、高齢者や子育て世帯等からベンチの設置に対する要望が寄せられているので、今後は、ベンチの設置について関係部署と連携を図り、土地所有者の協力を得ながら道路に面した用地にベンチを設置する等、研究していきたい。

開発行為及び規制規模未満の開発について

日本共産党 宇津野 史行

問 胡録台公園に隣接して厚生労働省胡録台宿舎があるが、この宿舎が売却され跡地が開発された場合、どの程度の面積の公園整備が条例で求められるのか。また、財務省に対し一体で

売却を求めることはできないか。 答 本市の宅地開発事業等に関する条例の規定では、事業面積の6パーセント以上、当該施設の場合は341・8平方メートル以上の公園の設置が必要となる。国への条件付の売却について、法的根拠に基づく条件を超える対応を求めることは難しいが、胡録台周辺には広場が少ないことから、地域からも災害時等も利用できる広場の設置要望があることを国へ伝えていく。

特別職報酬等審議会の開催について

まつど市民 小沢 暁民

問 特別職を含め報酬の見直しについて諮問する時期と考えるが、市長の見解を問う。

答 特別職報酬等審議会は、議員の報酬、市長などの給料・退職手当に係る条例を議会に提出するときに、市長の諮問に

基づいて審議を行う。平成8年に行われた審議会では、議員報酬および特別職の給料の引き上げが妥当とする答申が出されたが、当時の厳しい社会情勢等を勘案し改正を見送った経緯もあった。審議会を開催し審議することは重要と認識しているが、国やほかの地方公共団体、民間との均衡、一般職の給与の改定状況、社会経済情勢など、さまざまな状況を総合的に勘案し必要に応じて開催していくものと考えている。

NPO法人「コト」の裁判を巡る市の姿勢は

市民 力 山中 啓之

問 平成24年10月26日に行われた職員の処分理由の不適切な事務処理とは何か。また、22年度空き店舗を活用したまちづくり事業担い手育成事業の補助金返還における議員説明資料で、市がコトの責任として3点

挙げた内の不足書類とは何か。 答 不適切な事務処理とは、担当者の当該事業に対する理解度が低く、責任感、自覚が薄れており、支出方法にも誤りがあったことである。また、事業の実績報告書や業務完了報告書の不備等の指摘、さらに県やNPO法人コトとの協議が不十分であった。なお、不足書類とは、当該事業に係る人件費内訳および領収書等の支出に関する証拠書類である。

ラグビーワールドカップ 日本大会に向けて

ラグビーワールドカップ 日本大会に向けて 清松 会 大橋 博

問 平成27年3月定例会で、市は、2019年ラグビーワールドカップ日本大会を市の活性化とブランド力の向上のためのステップとして取り組むと答弁したが、その取り組み状況は。

答 本市では、2020年東

京オリンピックに向け、2019年ラグビーワールドカップに焦点をあて、重要なステップと位置付けている。本市には、幅広い世代でラグビー競技に取り組む方も多く、身近でかかわる機会を増やし、ラグビーを通じ市民スポーツの振興に取り組むことが重要と考えている。引き続き、ラグビー競技の持つ効果が活用できるような検討を進めたい。



第200回シティ・ミニコンサートのようす

次回は2月17日(水)12時15分より 皆さまのお越しをお待ちしています!

町会・自治会活動について

市民クラブ 渋谷 剛士

問 平成27年度より新規事業として始まった町会・自治会活動拠点貸借補助制度の現状と課題は。また、今後について市の考えを伺う。

答 この制度は、集会所の所有が困難な町会・自治会等に対

し、拠点場所を確保し地域活動の活性化につなげることを目的としている。27年11月末現在、補助金の交付を決定した町会・自治会数は9団体である。また、課題として、町会・自治会等の実態にあった活動拠点等に対する支援策を研究することが必要となる。今後、地域の活性化につながる安定した活動を行うため、町会・自治会等の規模や利用しやすさ等を研究し、新たな支援策も含め検討していきたい。



Go forward!

意見書3件提出

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、次の意見書を提出しました。

- マイナンバー制度の円滑な運営に係る財源確保等、自治体の負担軽減を求める意見書
- 中学校夜間学級の整備と拡充を求める意見書
- ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書

人権擁護委員3人の推薦に同意
しました。(敬称略)

人事案件

山野若
口村林
勤義子

議会を傍聴しませんか

議会では、市民の皆さんの生活に関するさまざまな問題を取り上げて審議しています。私たち議員が、どのような活動をしているか、議会を傍聴にいらっしゃいませんか。

議会を傍聴するには

- (1)開催当日、議会棟にて開会予定時刻の30分前から傍聴の受付を開始します。
- (2)受付で住所・氏名をご記入ください。
- (3)係員が傍聴席にご案内します。
- (4)車椅子でお越しの方は、係員にお申し出ください。
- (5)手話通訳・要約筆記を希望される方は、事前にご連絡ください。

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課
TEL 047 (366) 7381

3月定例会の開催予定

平成28年松戸市議会3月定例会は、2月22日(月)から3月22日(火)まで
いずれも10時より開催する予定です。
請願・陳情は、2月10日(水)正午が提出期限です。

期日	主な内容
2月22日(月)	招集日・本会議(施政方針・議案提案理由説明)
23日(火)	常任委員会(先議議案審査)
26日(金)	本会議(先議議案採決)
29日(月)	本会議(一般質問)
3月1日(火)	本会議(一般質問)
2日(水)	本会議(一般質問・議案質疑)
3日(木)	総務財務常任委員会
4日(金)	健康福祉常任委員会
7日(月)	教育環境常任委員会
8日(火)	建設経済常任委員会
10日(木)	予算審査特別委員会
14日(月)	〃
15日(火)	〃
16日(水)	〃
22日(火)	本会議(議案等の採決)

※このほか、随時、委員会が開催される場合があります。
また、開催予定が変更となる場合もありますので、
ホームページでご確認ください。

声の議会だよりをご利用ください

松戸市障害者福祉センターでは、松戸朗読奉仕会の協力を得て、視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音物の貸し出しをしております。

詳しくは下記までご連絡ください。

●問い合わせ先
松戸市障害者福祉センター(ふれあい22内)
TEL 047 (383) 7111
住所 松戸市五香西3-7-1

松戸市議会の情報をホームページで公開しています。

松戸市議会ホームページへ
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html>



松戸市議会

検索



会議録検索



議会中継



本会議の様子は、松戸市ホームページのまつど市議会の「インターネット議会中継」からご覧いただけます。

平成27年6月からは、パソコンだけでなく、スマートフォン・タブレット型端末でも視聴が可能となりました。

ライブ放映は、本会議開始から終了まで議場の様子を放映します。ライブ放送終了後は、会議開催日の翌日夜から録画を公開しています。

また、「松戸市議会会議録検索システム」では、過去の会議録も公開していますので、どうぞご利用ください。

インターネット放映アクセス件数 39万2,659件
(平成17年6月開設～平成27年12月末)

編集の窓

2016年を迎え、初めての「まつど議会だより」
をご覧いただき、誠にありがとうございます。
少子高齢化の中で、本年も経済再生や子育て支援、
介護の充実など、地方自治における課題は山積して
おり、身の引き締まる思いでの船出となりました。
広報委員会では、多くの市民の皆様は松戸市議会の
活動をお伝えしていくため、紙面の工夫と充実に取り
組んでまいりますのでぜひご覧になってください。
本年も何とぞよろしくお願いたします。



次回発行予定は5月1日(日)です。